

野菜の需給・価格動向レポート(平成25年9月17日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

| 種類 | 8月の価格情報 | | | 9月の価格情報 | | | 生育及び価格の9月の見通し (台風18号の影響は加味しておりません。) | |
|-------------|--|--------|------------------------|-----------------------|--------|------------------------|--|--|
| | (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格 | | 指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額 | (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格 | | 指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額 | | |
| | 中旬 | 下旬 | | 上旬 | | | | |
| 葉 茎 菜 | キャベツ  | 74.19 | 75 | 84 | 74.19 | 85 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：14,760 (100) 主産地：群馬 (79)、岩手 (12)、北海道 (4) | <ul style="list-style-type: none"> 群馬産は、最近の曇雨天の影響でやや少なめの出荷量となっていたものの、生育は順調で品質も良く、今後は平年並みの出荷の見込み。岩手産は、8月の降雨の影響で、根の張りが悪く小玉傾向で、今後も少なめの出荷の見込み。 北海道産は、少なめの出荷となっているが、今後はやや出荷量が増加する見込み。 群馬産の出荷が順調と見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。 |
| | | 88.91 | 77 | 87 | 88.91 | 86 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：4,100t (100) 主産地：群馬 (70)、長野 (27) | <ul style="list-style-type: none"> 青森産は、品質も良く太もの中心の出荷となっているものの、9月17日の週は稻刈り作業との重複により、出荷量が減少する見込み。北海道産は、降雨の影響で生育が遅れ、少なめの出荷となっている。 少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 |
| | ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)  | 273.33 | 385 | 275 | 273.33 | 311 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込数量：4,350t (100) 主産地：青森 (33)、北海道 (17)、山形 (10)、茨城 (10)、秋田 (9)、輸入 (5)、岩手 (4) | <ul style="list-style-type: none"> 長野産は、最近の低温と降雨の影響で生育停滞がみられるものの、作付面積の増加している時期の出荷であることから、今後は出荷量が増加する見込み。 長野産の出荷量が増加すると見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。 |
| | | 487.13 | 440 | 492 | 487.13 | 455 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込数量：190t (81) 主産地：香川 (41)、三重 (16)、大阪 (12)、徳島 (11) | <ul style="list-style-type: none"> 群馬産は、気温の低下により高冷地での生育が停滞し、少なめの出荷となっているものの、下旬には、平坦地の出荷が開始となり、平年並みの出荷の見込み。 栃木産は、降雨等により生育が回復し、平年並みの出荷の見込み。茨城産は、順調な出荷の見込み。岩手産は、少なめの出荷の見込み。 群馬産、栃木産及び茨城産の出荷が順調と見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。 |
| | はくさい  | 78.06 | 99 | 98 | 78.06 | 97 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：7,820t (100) 主産地：長野 (91) | <ul style="list-style-type: none"> 長野産は、最近の低温と降雨の影響で生育停滞がみられるものの、作付面積の増加している時期の出荷であることから、今後は出荷量が増加する見込み。 長野産の出荷量が増加すると見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。 |
| | | 88.72 | 102 | 97 | 88.72 | 101 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：3,600t (98) 主産地：長野 (99) | <ul style="list-style-type: none"> 群馬産は、気温の低下により高冷地での生育が停滞し、少なめの出荷となっているものの、下旬には、平坦地の出荷が開始となり、平年並みの出荷の見込み。 栃木産は、降雨等により生育が回復し、平年並みの出荷の見込み。茨城産は、順調な出荷の見込み。岩手産は、少なめの出荷の見込み。 群馬産、栃木産及び茨城産の出荷が順調と見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。 |
| | ほうれんそう  | 583.95 | 638 | 727 | 583.95 | 767 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：860t (100) 主産地：群馬 (31)、栃木 (28)、茨城 (14)、岩手 (8) | <ul style="list-style-type: none"> 長野産は、生育初期の少雨の影響で根の張りが悪く小玉傾向となっている。今後は、作付面積の増加している時期の出荷になり、平年並みの出荷の見込み。 群馬産は、平年並みの出荷の見込み。 順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。 |
| | | 670.86 | 637 | 755 | 670.86 | 821 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：370t (99) 主産地：岐阜 (84)、北海道 (9) | <ul style="list-style-type: none"> 北海道産は、最近の降雨の影響で収穫作業が滞っていたが、今は急ピッチで収穫作業を進めている。夏場の少雨の影響により小玉傾向で、平年より少なめの出荷となる見込み。 北海道産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 |
| 果 菜 | レタス (結球)  | 158.27 | 101 | 127 | 158.27 | 118 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：9,550t (100) 主産地：長野 (83)、群馬 (11) | <ul style="list-style-type: none"> 長野産は、生育初期の少雨の影響で根の張りが悪く小玉傾向となっている。今後は、作付面積の増加している時期の出荷になり、平年並みの出荷の見込み。 群馬産は、平年並みの出荷の見込み。 順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。 |
| | | 152.57 | 99 | 133 | 152.57 | 119 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：1,750t (94) 主産地：長野 (99) | <ul style="list-style-type: none"> 北海道産は、最近の降雨の影響で収穫作業が滞っていたが、今は急ピッチで収穫作業を進めている。夏場の少雨の影響により小玉傾向で、平年より少なめの出荷となる見込み。 北海道産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 |
| | たまねぎ  | 84.85 | 101 | 96 | 84.85 | 102 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：10,350t (98) 主産地：北海道 (93)、輸入 (5) | <ul style="list-style-type: none"> 福島産及び岩手産は、気温の低下により肥大が悪く、少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。埼玉産及び群馬産は、定植が高温の影響で遅れていたことから、少なめの出荷となっているが、今後増加する見込み。 福島産及び岩手産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 |
| | | 84.85 | 115 | 111 | 84.85 | 119 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：4,100t (111) 主産地：北海道 (66)、兵庫 (31) | <ul style="list-style-type: none"> 青森産及び福島産は、気温の低下とともに、裂果が散見されるとともに着色や肥大が悪く、少なめの出荷が続く見込み。千葉産は、高温の影響で定植が遅れていたが、出荷開始を迎へ順調な出荷となり、平年より多めの出荷となっている。 青森産及び福島産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 |
| | きゅうり  | 210.69 | 175 | 374 | 210.69 | 341 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：8,090t (95) 主産地：福島 (29)、岩手 (12)、埼玉 (11)、群馬 (11)、茨城 (9)、秋田 (8)、宮城 (6) | <ul style="list-style-type: none"> 福島産及び岩手産は、気温の低下により肥大が悪く、少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。埼玉産及び群馬産は、定植が高温の影響で遅れていたことから、少なめの出荷となっているが、今後増加する見込み。 福島産及び岩手産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 |
| | | 221.71 | 188 | 342 | 221.71 | 374 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：8,720t (98) 主産地：青森 (18)、千葉 (18)、福島 (16)、茨城 (12)、北海道 (11)、群馬 (9) | <ul style="list-style-type: none"> 青森産及び福島産は、気温の低下とともに、裂果が散見されるとともに着色や肥大が悪く、少なめの出荷が続く見込み。千葉産は、高温の影響で定植が遅れていたが、出荷開始を迎へ順調な出荷となり、平年より多めの出荷となっている。 青森産及び福島産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 |
| | トマト (大玉)  | 229.51 | 224 | 282 | 229.51 | 353 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：1,800t (95) 主産地：北海道 (36)、岐阜 (34)、岡山 (11) | <ul style="list-style-type: none"> 栃木産は、成り疲れと病虫害の発生による品質の低下がみられ、少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。群馬産は、曇天と低温の影響で肥大が進まず少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷となる見込み。茨城産は、ピークを過ぎ、減少傾向の見込み。 少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 |
| | | 271.33 | 261 | 316 | 271.33 | 365 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：4,420t (100) 主産地：栃木 (30)、群馬 (25)、茨城 (22)、埼玉 (8) | <ul style="list-style-type: none"> 栃木産は、成り疲れと病虫害の発生による品質の低下がみられ、少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。群馬産は、曇天と低温の影響で肥大が進まず少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷となる見込み。茨城産は、ピークを過ぎ、減少傾向の見込み。 少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 |
| 根 菜 | なす  | 209.55 | 140 | 240 | 209.55 | 304 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：1,000t (97) 主産地：山梨 (21)、徳島 (20)、大阪 (10)、奈良 (10)、福島 (9)、京都 (8)、愛媛 (6) | <ul style="list-style-type: none"> 茨城産は、順調な生育となっているものの、下旬から本格的な出荷となる見込み。岩手産は、花落ちの影響で少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。 岩手産及び福島産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年を上回って推移する見込み。 |
| | | 221.72 | 152 | 217 | 221.72 | 318 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：2,370t (98) 主産地：茨城 (38)、岩手 (37)、福島 (13)、青森 (9) | <ul style="list-style-type: none"> 茨城産は、順調な生育となっているものの、下旬から本格的な出荷となる見込み。岩手産は、花落ちの影響で少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。 岩手産及び福島産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年を上回って推移する見込み。 |
| | ピーマン  | 263.58 | 213 | 250 | 263.58 | 387 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：500t (95) 主産地：青森 (28)、兵庫 (16)、北海道 (11)、福島 (11)、愛媛 (10)、大分 (9) | <ul style="list-style-type: none"> 北海道産は、長雨の影響による病害等の発生と、収穫作業の遅れ等から少なめの出荷となっている。今後は生育が回復し増加が見込まれるもの、平年には届かない見込み。青森産は、気温の低下とともに生育が回復し、平年並みの出荷の見込み。 北海道産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年を上回って推移する見込み。 |
| | | 282.16 | 283 | 321 | 282.16 | 418 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：10,760t (97) 主産地：北海道 (63)、青森 (30)、岩手 (5) | <ul style="list-style-type: none"> 北海道産は、長雨の影響による病害等の発生と、収穫作業の遅れ等から少なめの出荷となっている。今後は生育が回復し増加が見込まれるもの、平年には届かない見込み。青森産は、気温の低下とともに生育が回復し、平年並みの出荷の見込み。 北海道産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年を上回って推移する見込み。 |
| 根 菜 | だいこん  | 94.6 | 98 | 98 | 94.6 | 112 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：3,500t (113) 主産地：北海道 (61)、青森 (15)、岐阜 (13)、岩手 (6) | <ul style="list-style-type: none"> 北海道産は、曇天と低温の影響で少なめの出荷となっているが、今後も少なめの出荷の見込み。 北海道産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年を上回って推移する見込み。 |
| | にんじん  | 100.39 | 103 | 100 | 100.39 | 112 | <ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：6,660t (96) 主産地：北海道 (96)、輸入 (3) | <ul style="list-style-type: none"> 北海道産は、曇天と低温の影響で少なめの出荷となっているが、今後も少なめの出荷の見込み。 北海道産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年を上回って推移する見込み。 |

| 種類 | 8月の価格情報 | | | 9月の価格情報 | | | 生育及び価格の9月の見通し (台風18号の影響は加味しておりません。) | |
|---------------------|-----------------------------------|-----------------------|-----|-----------------------------------|-----------------------|---|--|--|
| | (参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格 | 指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額 | | (参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格 | 指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額 | | | |
| | | 中旬 | 下旬 | | 上旬 | | | |
| いも さといも ばれいしょ | 242.66 | 350 | 300 | 242.66 | 278 | ・入荷見込量：970t (100) ・主産地：千葉 (58)、宮崎 (24)、輸入 (6) | ・千葉産及び宮崎産は、高温と少雨の影響により小玉傾向で少なめの出荷となつており、今後も少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 | |
| | 220.11 | 261 | 231 | 220.11 | 352 | ・入荷見込量：255t (-) ・主産地：宮崎 (77)、愛媛 (11)、大阪 (5)、輸入 (4) | ・北海道産は、急ピッチで収穫作業を進めているものの、全体的に小玉傾向であることから、出荷量は、平年には届かない見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 | |
| | 101.61 | 174 | 143 | 101.61 | 134 | ・入荷見込量：7,250 (98) ・主産地：北海道 (93) | ・北海道産は、急ピッチで収穫作業を進めているものの、全体的に小玉傾向であることから、出荷量は、平年には届かない見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 | |
| | 101.61 | 179 | 157 | 101.61 | 139 | ・入荷見込量：3,700t (103) ・主産地：北海道 (92) | ・北海道産は、急ピッチで収穫作業を進めているものの、全体的に小玉傾向であることから、出荷量は、平年には届かない見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 | |

注:
 1 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)
 2 別々平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景色は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)
 3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
 4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは、前年実績。
 5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
 6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。
 7 平成25年8月20日版より、平均価格と別々平均販売価額を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いています。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、7月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,456gで前年比102%、購入金額は、1,783円で同106%となり、購入数量は前年をわずかに上回り、購入金額はかなり上回った。

また、小売物価統計によると、8月のキャベツの小売価格は、141円で過去5か年平均比102%、レタスは、371円で同90%となり、キャベツは過去5か年平均をわずかに上回り、レタスはかなり下回った。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)

| 年 | 過去5か年平均 | | 平成24年 | | 平成25年 | | | |
|-----|---------|---------|---------|---------|-------|---------|-------|-----|
| | 購入数量(g) | 購入金額(円) | 購入数量(g) | 購入金額(円) | 前年比 | 購入金額(円) | 前年比 | |
| 1月 | 4,271 | 1,557 | 4,189 | 1,634 | 4,243 | 101 | 1,669 | 102 |
| 2月 | 4,447 | 1,610 | 4,499 | 1,735 | 4,553 | 101 | 1,652 | 95 |
| 3月 | 4,797 | 1,765 | 4,584 | 1,851 | 4,961 | 108 | 1,769 | 96 |
| 4月 | 4,723 | 1,834 | 4,620 | 1,904 | 5,019 | 109 | 1,809 | 95 |
| 5月 | 5,055 | 1,905 | 4,945 | 1,948 | 5,257 | 106 | 1,861 | 96 |
| 6月 | 5,048 | 1,881 | 5,103 | 1,875 | 5,249 | 103 | 1,897 | 101 |
| 7月 | 4,421 | 1,691 | 4,386 | 1,675 | 4,456 | 102 | 1,783 | 106 |
| 8月 | 4,318 | 1,689 | 4,245 | 1,618 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9月 | 4,839 | 1,783 | 4,916 | 1,703 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 10月 | 5,280 | 1,840 | 5,242 | 1,761 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 11月 | 5,030 | 1,630 | 5,039 | 1,602 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 12月 | 5,140 | 1,837 | 5,169 | 1,888 | 0 | 0 | 0 | 0 |

資料: 総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」注: 過去5か年平均は、平成20~24年の平均。

主要野菜の小売価格(東京都区部)

| | キャベツ | | レタス | | | |
|-----|---------|-------|---------|---------|-------|---------|
| | 過去5か年平均 | 平成25年 | 5か年比(%) | 過去5か年平均 | 平成25年 | 5か年比(%) |
| 1月 | 187 | 203 | 109 | 579 | 904 | 156 |
| 2月 | 203 | 204 | 100 | 555 | 722 | 130 |
| 3月 | 207 | 181 | 88 | 512 | 434 | 85 |
| 4月 | 248 | 207 | 83 | 466 | 426 | 91 |
| 5月 | 175 | 133 | 76 | 369 | 318 | 86 |
| 6月 | 140 | 137 | 98 | 338 | 274 | 81 |
| 7月 | 149 | 173 | 116 | 308 | 385 | 125 |
| 8月 | 138 | 141 | 102 | 414 | 371 | 90 |
| 9月 | 142 | 0 | 0 | 526 | 0 | 0 |
| 10月 | 150 | 0 | 0 | 467 | 0 | 0 |
| 11月 | 155 | 0 | 0 | 385 | 0 | 0 |
| 12月 | 148 | 0 | 0 | 495 | 0 | 0 |

資料: 総務省「小売物価統計調査報告」

注: 1 過去5か年平均は、平成20~24年の平均。

2 平成25年8月の値は、8月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

8月の野菜の輸入を植物防疫統計で見るところ、たまねぎは、前年比84%(中国は同91%、アメリカは同42%)の2万3千トン、にんじんは、同139%(中国は同145%、ニュージーランドは同113%)の7千トン、ねぎは、同119%(中国は同111%)の5千トンとなりた。たまねぎは前年を大幅に下回り、にんじん及びねぎは大幅に上回った。

野菜の輸入数量

| 区分 | 平成23年 | | 平成24年 | | 平成25年1~7月 | | 平成25年7月 | |
|-----------|-----------|---------|-----------|-----|-----------|-------|---------|---------|
| | 前年比 | 購入数量(g) | 購入金額(円) | 前年比 | 購入数量(g) | 前年同期比 | 前年同期比 | 購入金額(円) |
| | | | | | | | | |
| 生鮮野菜 | 915,091 | 112 | 946,931 | 103 | 500,280 | 79 | 62,770 | 81 |
| 加工野菜 | 1,803,510 | 107 | 1,909,671 | 106 | 1,081,378 | 98 | 169,335 | 102 |
| 野菜合計 | 2,718,600 | 109 | 2,856,601 | 105 | 1,581,657 | 91 | 232,105 | 95 |
| うち中国産野菜合計 | 1,409,984 | 110 | 1,458,418 | 103 | 783,174 | 91 | 120,728 | 97 |
| 中国産シェア | 52 | | 51 | | 50 | | 52 | |

資料: ベジ探(原資料) 財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入数量

| 品目 | 輸入先 | 平成24年8月(A) | | 平成25年8月(B) | |
|------|-----|------------|--------|------------|-----|
| | | (B)/(A) | (A) | (B) | (A) |
| たまねぎ | 合計 | 27,182 | 22,883 | 84 | |
| | 中国 | 24,303 | 22,155 | 91 | |
| にんじん | 合計 | 4,696 | 6,514 | 139 | |
| | 中国 | 4,306 | 6,223 | 145 | |
| ねぎ | 合計 | 218 | 245 | 113 | |
| | 中国 | 4,085 | 4,870 | 119 | |

資料: 農林水産省「植物防疫統計」注: 平成25年8月は、速報値。

4 トピック — ピーマンの